

令和6年度事業報告

■法人管理

(1) 総会の開催

・ 定時総会

開催年月日 令和6年6月24日

議決事項 令和5年度事業報告、決算及び監査報告、役員改選について

(2) 評議員会等の開催状況について

・ 5月度理事会

開催年月日 令和5年5月16日

議決事項 定時総会の招集について

・ 6月度理事会

開催年月日 令和6年6月18日

議決事項 令和5年度事業報告、決算及び監査報告について

・ 6月度第2理事会

開催年月日 令和6年6月24日

議決事項 正副会長及び専務理事の選定について

・ 3月度理事会

開催年月日 令和7年3月13日

議決事項 令和7年度事業計画(案)、収支予算及び資金調達及び設備投資の見込み(案)について

■観光振興に関する事業

1 趣旨（目的）

本事業は、萩市の観光を振興するために、観光行事の実施、観光客の誘致宣伝、萩市の観光客受入態勢の整備を行うことにより、市内外の交流人口の拡大を図り、経済の波及効果と雇用の創出により、地域社会の発展を目指すものである。

2 事業概要

（１）観光行事実施事業

【事業内容】

萩市の歴史や風土等に関連する様々な観光行事を主催・共催し、観光客等にも楽しんでもらうことや萩を市内外にアピールすることを通じて、より多くの観光客が萩市を訪問するきっかけづくりを行い、萩市への誘客を図った。

【周知方法】

- ・ホームページへの掲載、チラシの配布（道の駅、県内官公庁等約90箇所）
- ・ポスターの設置（道の駅、町内会、県内官公庁等約100箇所）
- ・広報はぎへの掲載等

【イベント等】

○萩の夏の風物詩「萩・万灯会（迎え火）」

萩藩主毛利氏の菩提を弔うため、大照院参道や石灯籠に4,000個の蝋燭を灯す。

- ・期日 8月13日（火）
 - ・場所 大照院
 - ・協力 スポーツ少年団他 20人
- （令和6年度実績）参加者 7,300人

○着物ウィーク in 萩の開催（共催）

江戸時代の風情が残る萩城下町で、着物を着てまち歩きを楽しんでもらう観光イベント。

着物レンタルサービス・着付け（専門事業者等の協力あり）

着物特典（着物を着ている方に「HAGI TRAVEL PASS」をプレゼント）

和の心を楽しむ体験プログラムの実施

無料写真撮影、写真プレゼント

着物フォトコンテストの実施

- ・期日 10月1日（火）～11月10日（日）
 - ・場所 萩城下町周辺ほか市内各所
 - ・体制 実行委員会形式により実施（約20団体）
 - ・協力 公募ボランティア（和の学び舎講師、萩看護学校生 他）約100名
- （令和6年度実績）参加者 3,350人

公募ボランティア 延べ約250人

○萩観光シーズン開き

1年間の観光振興と観光客の旅行中の安全を祈願する。（萩民踊男ならの奉納）

- ・期日 2月2日（日）
- ・場所 萩城跡指月公園
- ・協力 男なら保存会、萩芸能家協会、山口県飲食業生活衛生同業組合萩支部

○萩・しろ魚まつり

萩の早春の味覚「しろうお」を広くPRするイベント。名物「おどり食い」の無料体験や、萩市内の特産品等を販売する模擬店も併設。

- ・期日 3月16日（日）
- ・場所 山口県漁協萩地方卸売市場
- ・協力 萩しろ魚組合
（令和6年度実績） 悪天候により漁獲の確保が難しいため中止

（2） 観光客誘致宣伝事業

他団体との連携による共同観光宣伝やホームページ等を活用した情報発信、観光小町による観光PR等により、萩市の魅力を市内外に発信した。

○他団体との連携による共同観光宣伝の実施

他団体の観光宣伝隊や他市の交流事業へ職員を派遣し、萩市のPRを行った。

- ・実施（周知）方法 他団体と協力し、街頭PR、旅行業者や情報誌業者、地元テレビ局へ訪問して宣伝等。
- ・体制 協会職員1～3名、観光小町1～2名が観光交流事業及び観光宣伝隊に参加。
（令和6年度の連携先及び実施方法等）

ア 川崎アゼリア萩物産フェア（神奈川県）へ職員が参加、観光物産宣伝を行った。

萩商工会議所及び会員事業者と共に参加し、特産品の販売と観光PRを実施した。

○ホームページ等による情報発信

①萩市観光協会公式サイト「HAG I」

②観光行事関連の観光ポスター、リーフレット、パンフレットの作成

③テレビ、ラジオ、新聞等マスコミ関係への観光行事等の情報提供

（令和6年度実績）

①HPアクセス数等 訪問者数 156万件、ページビュー数 348万件

②リーフレット等の作成数 12万部

③FM775 毎月第1金曜日 14：00～15：00 生出演

④FM775 毎月第3火曜日 13：10～14：50 生出演

○観光調査事業

・調査内容 観光施設を訪れる観光客数、宿泊客数、観光施設に併設される飲食店の来客数について、年齢層、男女別、月別、一般・修学旅行別、県別、国別等により、調査を行った。

- ・調査方法 調査対象施設等への電話又は依頼文書
- ・結果公表 宿泊客数及び観光客数（市）を合わせて発表（３月）
- ・調査対象施設

対象施設等 ４６施設

バス等の観光事業者 タクシー、バス及び貸自転車の１２事業者

宿泊施設 一般客、修学旅行者及び国別を把握

飲食施設 団体昼食提供施設を対象とし、一般客及び修学旅行者を把握

- ・調査対象期間 １月から１２月末まで
（令和６年観光客数） ３，８９２千人、うち宿泊客は３０７千人

（３） 観光客受入態勢整備事業

○観光協会等での観光案内

萩観光案内所（萩・明倫センター内）、東萩駅観光案内所（東萩駅構内）において、訪問者や電話等での問合せに対し、観光の見どころ等の案内、飲食・宿泊施設等の紹介、資料送付等を行った。また、東萩駅観光案内所においてＪＲ切符販売を行った。

- ・体制 職員７名、臨時職員６名（萩観光案内所１名、東萩駅観光案内所５名）

■観光振興の拠点施設の管理運営、特産土産品の展示即売、観光案内に関する事業

【目的】

観光客の満足度を高めるため、萩市の歴史や自然のみでなく「見る、買う、食する」等の、より細やかな情報等を提供し、再訪を促すことを目的とする。

(取組内容)

ア 観光施設等管理運営事業

- ・指月公園、旧厚狭毛利家萩屋敷長屋の入場料徴収業務（入場料は萩市収入）
- ・萩市自然と歴史の展示館管理業務

イ 物品販売等事業

- ・書籍、ガイドブック、パンフレット、絵葉書等、土産品の販売
- ・自動販売機による飲料販売

ウ 広告宣伝事業

- ・ホームページに会員等の広告を掲載し、広告料を徴収する。

(令和6年度実績) 広告料 624,000円(全体の4.7%、18件)

エ 観光客案内事業

○観光客へ会員であるホテル等、食事処、土産店の案内及び取材協力依頼を行った。

○観光ガイドによる観光客等（個人及び旅行会社等の依頼）の案内

- ・体制 職員1人
- ・実施方法 ガイドが4～5日に1回約2.5時間の観光案内等を行った。

(令和6年度実績)

- ・出動回数：186回 対応人数：1,617人

オ 研修会等の開催

おもてなしの充実を図るため、以下の研修会の実施。

(令和6年度実績)

○インバウンドセミナー

令和6年6月12日（水）

○もっと詳しくOTAを知るセミナー

令和7年3月12日（水）

■萩版DMO事業

【目的】

地域DMOとして地域の稼ぐ力を引き出し、地域の誇りと愛着を醸成する取組を推進する舵取り役として、効果的な観光事業を展開し、「観光地経営」の視点に立った観光地域づくりを多様な関係者と協同しながら取り組むとともに、会員事業所の更なる発展に寄与する取組を実現する。

【事業】

(1) JNTO、せとうち DMO 連携事業

せとうち DMO との連携を強化し、欧米市場における萩市の認知度向上を図った。JNTO については、日本の海外プロモーションを行っており、海外市場における萩市の認知度向上を図り、春と夏に外国語パンフレットを JNTO の海外事務所(21 箇所)へ郵送した。また、JNTO の HP 内に萩市観光パンフレットのデジタルデータを掲載した。さらに、JNTO が運営する観光インフォメーション等での萩市観光パンフレットの配布を行った。

(2) インバウンドプロモーション事業

多様化するインバウンド需要が高まる中で、インバウンド誘客に対し、知名度不足、観光資源と深くかかわる暮らし文化をつなぐストーリーが弱い情報発信不足等、そのインパクトを十分に活用できていないなど課題がある。本格的な再開が見込まれるインバウンドの誘客や観光消費の拡大を促進するため、萩市内の観光事業者が連携して、インバウンド向けに対し地域に根差した観光資源の映像コンテンツの制作・配信を実施した。

株式会社日本国際放送と委託し、PR 動画の作成と放送配信を行った。

世界160の国と地域、約3億5000万世帯以上で視聴可能なテレビ国際放送NHKワールドJAPAN/jibtvの番組「Catch Japan」の1セグメントとして放送し、海外への認知を訴求し、萩市についての【魅力発信】と【誘客促進】を図るためのプロモーション施策を実施した。

日本の魅力を紹介する情報番組『CATCH JAPAN』にて放送(2024年11月29日JST)した。

(3) 魅力あるパンフレット作成事業

- ①観光客からのニーズが高い民間情報を含むパンフレット「はぎ散歩」を発行。
- ②山口県飲食業生活衛生同業組合萩支部と協働で、「萩の旨旅」の情報を更新発行。
- ③季節のイベント情報リーフレットの発行。

(4) 食情報発信事業

①はぎ御膳・はぎ弁当

・提供数：4月～3月実績 はぎ御膳 3, 372食 はぎ弁当 15食

②「HAGI TRAVEL PASS」の発行

- ・萩の旬の食、観光情報、イベント情報、協賛施設でお得なクーポンが使える。
- ・萩トラベルパス（2024年4月1日～9月30日） 10,000部
- ・萩トラベルパス（2024年10月1日～2025年3月31日） 10,000部
- ・クーポン利用実績 萩トラベルパス（4月～9月） 1,728枚
萩トラベルパス（10月～3月） 1,499枚
- ・ぶらやま販売数 ぶらやま ver（4月～9月） 91件
ぶらやま ver（10月～12月） 18件
- ・スタンプラリーの参加者 224名（前期135名、後期89名）

(5) 山陰本線活用事業

萩博物館と連携した列車「貸切列車で行く！珍魚・怪魚リサーチツアーin萩・江崎」を実施した。令和7年度の「萩駅・東萩駅開業100周年」のプレ企画として、萩博物館等が平成26年度より断続的に実施してきた地域探究型トレインツアーを参考に、山陰本線の列車で江崎地区（萩市北東部）の定置網に入った魚類を探究したり地域の魅力に触れたりするツアーを実施することで、萩市内外の親子や三世代が地域の鉄道を楽しみ、その魅力や課題に関心をもつ機会を作ることが出来た。

(6) 着物イヤー事業

着物の方限定で年間を通して使用できるトラベルパスを無料配布。令和8年度のデスティネーションキャンペーンを見据えて、期間を40日間に延長して実施した着物ウィーク in 萩。メインの会場を萩城下町にし、体験会場を萩・明倫学舎や萩博物館に分散して開催した。

春の萩の花と着物のコラボレーション“着物イヤーin spring”を2月～3月にかけて約40日間ほど開催した。戦略的ターゲットである30代から40代の女性、外国人観光客の誘客を目的とし、着物が似合う町“萩”をPRする広告も実施した。

- ・着物ガチャ 68名
- ・着物で花巡りタクシーの運行
- ・インスタ投稿キャンペーン（萩城下の古き雛たちと連携企画）

(7) 萩おもてなし事業

「TWILIGHT EXPRESS 瑞風」などの観光列車の運行に併せて、多様なおもてなし、歓迎イベントを開催。

外国客船の来航時には歓迎イベントの開催やWi-Fiの設置し、おもてなしに努めた。

(8) MICE誘致助成事業

市内宿泊施設に20人以上宿泊する主催者に対して、宿泊人数により支給額20,000円から250,000円を助成。

(9) 受入環境整備支援事業

市内で外国人観光客の受け入れをしている、または、今後していく事業者を対象に、外国人観光客の受入能力及び生産性を向上することにより、外国人観光客の宿泊者数の増加、満足度の向上を図る取組みを支援するため、客室の洋式化、Wi-Fi、HPの多言語化、案内表示の多言語化等の整備に対する経費の一部を助成した。

実績：7事業者

（レストランメニュー多言語化、翻訳タブレット導入、多言語サイン整備、Wi-Fiの整備、館内表示の多言語化を実施）

(10) 公式WEBサイトを活用した情報発信強化事業

通信インフラ環境の向上、閲覧端末の多様化を受け、公式WEBサイトでの情報発信とあわせて、SNS（Facebook、Instagram）で魅力的な情報をタイムリーに発信。観光情報の発信をはじめ、会員事業者の広告枠（有料）を設け、当WEBサイト上で、会員様の施設情報等を発信していただく仕組みを構築した。

本年は、多様化するインバウンド需要にあわせ、多言語サイトのコンテンツの強化をはかるとともに、萩市国際交流員の方に協力いただき、Facebook（英語）「Visit HAGI」を運用、季節の情報などを発信している。また、滞留時間延長につなげるべく、観光モデルコースや体験メニューページの充実を進めている。

(11) 広告宣伝助成事業

- ・市内事業者に対し、販路開拓に取り組む際に必要な広報宣伝費の一部を助成。
- ・本年度実績は、4事業所

(12) マーケティング調査事業

DMO事業をPDCAサイクルで運用していく上で、必須KPIを把握するための調査を実施。

- ・萩にゃんアンケート：必須KPI（観光消費額、満足度、リピーター率）等
- ・明神池での入込客数実態調査（月2回12月分）
- ・グーグルフォームを活用したアンケート調査方法の整備

(13) 各種周年事業

◇各種周年事業

「明治日本の産業革命遺産・萩の5資産」が登録を受けて10周年、「毛利輝元没後400年」など、“萩にある、萩にしかない”歴史やまちなみ、自然や食等の観光資源を5に絡めてPRする、観光キャンペーン「#萩旅」を実施し、効果的なプロモーションを展開した。

「萩ならでは」の記念イベントの開催や情報発信を行った。

① 毛利輝元没後400年記念事業

ポスター、のぼり旗、チラシ、看板等の制作

② 萩駅・東萩駅開業 100年

駅へのポスター展示

③ 世界遺産登録 10周年

登録10周年記念看板の設置

(14) 旅行商品造成支援事業

① マイクロツーリズム造成支援事業

域内旅行の活性化を図るため、地元及び近隣旅行会社の積極的な着地型旅行商品づくりと地域の魅力再発見の醸成を促すとともに観光消費額の増加を図った。萩市内への日帰り旅行を造成する旅行業者に対し、催行人数に応じて支援金を助成した。

要 件：募集型の日帰り旅行

萩市内の観光地に2カ所以上立ち寄り

お土産購入又は昼食目的で市内商業施設への立ち寄り

開催時期：令和6年4月～令和7年3月

助 成 額：1人当たり1,000円

実 績：9件

② 団体旅行商品造成支援事業

市内での宿泊並びに萩・明倫学舎（2号館）見学を伴う団体観光客の誘客を行うことで、滞在時間の延長による観光消費額の増加を図った。助成要件を満たした団体旅行商品を造成する旅行事業者に対して、予算の範囲内で助成を行った。

要 件：市内宿泊施設に1泊以上宿泊

バス1台当たり15名以上の団体

萩・明倫学舎（2号館）又は萩博物館有料ゾーンに入館

お土産購入又は昼食目的で市内商業施設への立ち寄り

休前日、GWやお盆期間等の大型連休は対象外

実施時期：令和6年4月～令和7年3月

助 成 額：1台1泊あたり3万円

実 績：12件

(15) 萩観光キャンペーン推進事業

令和7年萩観光キャッチフレーズ「#萩旅」の実施。

◆プロモーション事業

実施時期：令和7年1月～12月

内 容：①萩市観光協会HP内に、特設HP開設、

ポスターやのぼり旗等によるプロモーション

② ポスター ③ノベリティの配布 ④のぼり旗



① 特設ホームページ



②ポスター



③ロゴマーク

(16)インバウンド推進事業

ニューヨークタイムズ紙が発表した「2024 年に行くべき 52 か所」で、山口市が選ばれ、世界からも注目を集めているこの機会に、萩市の認知度向上を図るため、ホームページを強化した。

① ホームページ英語版強化

公式ホームページの宿ページ、体験ページ、グルメページ及びそれらに付随するページの英語版を拡充した。

◆宿 (Accommodation)

【ページ改修】導入ページ 1 ページ【新規・追加】データベース 31 ページ

◆体験 (Activities)

【ページ改修】導入ページ 1 ページ【新規・追加】データベース 11 ページ

◆食 (Foods)

【ページ改修】導入ページ 1 ページ【新規・追加】データベース 63 ページ

※営業時間やカテゴリ等で検索できる機能を追加 特集ページ 3 ページ

○追加制作《既存ページの内容充実》

◆季節のおすすめ (Seasonal Features)

【ページ改修】導入ページ 1 ページ【新規・追加】データベース 9 ページ

◆萩について (About)

【ページ改修】1 ページ

◆おすすめ情報 (Useful info)

【ページ改修】1 ページ

◆市内の交通 (Transportation)

【ページ改修】1 ページ

◆萩へのアクセス (Access)

【ページ改修】1 ページ

◆観光スポット (Sightseeing Spots)

【新規・追加】データベース 14 ページ